

現代用語で読み解く「源氏物語」

2024年のNHK大河ドラマ「光る君へ」の主人公として注目される紫式部と「源氏物語」。でも、せっかく読んでみようと思ったのに、「なぜ光源氏は恋愛ばかり?」「光源氏って時々オッサンっぽくて感じ悪い」「紫の上の一生ってこれで良いの?」「女たちがみんな生きづらそう」って、つまづいてしまった人も多いのではないのでしょうか。そんな現代の読者の素朴な思いを原文の「源氏物語」へとつなぎます。イマドキの私たちだからこそ分かる、真実の「紫式部ワールド」へ、作者と一緒に分け入ってみませんか?

日時 令和6年4月27日(土)・5月25日(土)
10時～11時半(受付:9時半～)

※講座終了後、書籍販売と奥山先生のサイン会があります

会場 京都経済センター3階 3-F 会議室
(京都市下京区四条通室町東入函谷鋒町78番地)
京都市営地下鉄「四条駅」阪急京都線「烏丸駅」 地下通路26番出口

定員 80名(事前申込制 先着順で定員になり次第受付終了)

受講料 4,000円(税込み)2回通し ※学生半額
(当日学生証の提示をお願いします)

内容

第1回(4月27日) フェミニスト紫式部
～源氏物語は平安時代の写し鏡?～

第2回(5月25日) ウィメンズ・スタディーズからみる源氏物語
～平安時代の男女関係 女の策略 男の本音～

講師が作成する資料を配布します。

※都合により内容を変更させていただく
場合がございます。

講師プロフィール



奥山景布子(小説家)

愛知県津島市生まれ。名古屋大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。
主な研究対象は「蜻蛉日記」「源氏物語」「とはずがたり」など。

小説家としては、2007年に「平家蟹異聞」で第87回オール讀物新人賞を受賞。
2018年に『葵の残葉』で新田次郎文学賞、本屋が選ぶ時代小説大賞を受賞。

『元の黙阿弥』『やわ肌くらべ』など著書多数。

近刊は『フェミニスト紫式部の生活と意見～現代用語で読み解く「源氏物語」～』
『ワケあり式部とおつかれ道長』。



主催：古典の日推進委員会

特別協賛：村田機械株式会社

募 集 要 項

I. 募集期間

令和6年3月4日（月）～定員になり次第、受付を終了します。

（古典の日のホームページでお知らせいたします）



II. 応募方法

- ・古典の日推進委員会ホームページ（Web申し込み）
お申し込みと同時に電子決済となります。
ホームページにアクセスするか「二次元コード」を活用ください。
- ・郵便往復はがき（1通につき1名）
はがき到着後、事務局から振込先案内をお送りします。
お支払いが確認できましたら受講票（返信はがき）をお送りします。
- ・学生の方のお申し込みは、ホームページからお願いします。

III. 注意事項

次の場合は応募が無効になるのでご注意ください。

- ①Web申し込み、往復はがき以外での応募
- ②重複応募
- ③1通につき2名以上の応募
- ④記入漏れ

IV. その他

- ・応募時にご記入いただいた個人情報につきましては、古典の日推進委員会の事業のご案内や連絡目的のみ使用します。
- ・お問い合わせは、古典の日推進委員会までお願いします。

往復はがき記入方法

※字が消せるタイプの筆記具はご使用にならないでください。

【往信用の表】	【返信用の裏】	【返信用の表】	【往信用の裏】
往信 63円 〒600-8009 下京区四条通室町東入 京都経済センター3階 （公財）京都文化交流コンベンションビュロー内 古典の日推進委員会 「街かど古典カフェ」係	※この面には何も記入 しないでください。	返信 63円 〒□□□-□□□□ お名前 様 自身（応募者）の住所	この折り目を内側にして折って差し出してください ①氏名・ふりがな ②郵便番号・住所 ③電話番号

古典に抱かれて



11月1日 古典の日

問合せ先 古典の日推進委員会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78番地 京都経済センター3階
（公財）京都文化交流コンベンションビュロー内

TEL：075-353-3060 ※月～金 9:00～12:00 13:00～17:00（土日祝は除く）

FAX：075-353-3055

ホームページ <https://hellokcb.or.jp/kotennohi>

Facebook にて新着情報配信中！

古典の日

